



地域との協働による 広島湾の魅力の発見とその活用

広島湾再生シンポジウム

— 恵み豊かで美しく親しみやすい広島湾の保全・再生 —

平成20年2月27日(水) 広島YMCAホール

比治山大学現代文化学部地域文化政策学科 山田知子

本報告のキーワード設定

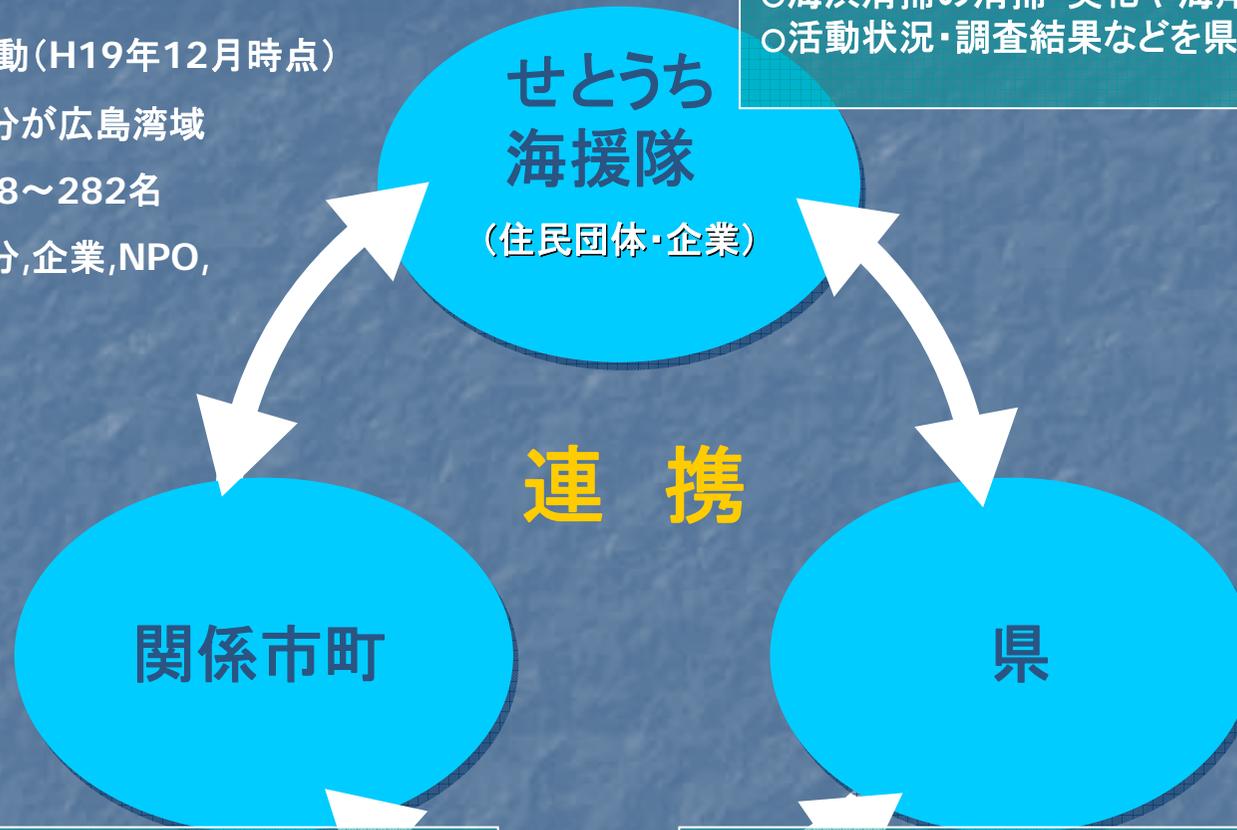
- 「複合体としての生活」視点＝「総合性」
- 多様なチャンネルの確保と活用
- 地域活性化へ連動するプログラム
- 地域内におけるマネジメント機能を担う拠点づくり

1. 広島県

「せとうち海援隊」事業の仕組み

- ・36団体が認定活動(H19年12月時点)
- ・活動拠点の約半分が広島湾域
- ・1団体構成人数 8~282名
- ・小中学校が約半分,企業,NPO, 漁協,釣り愛好者

- 海浜清掃の清掃・美化や海岸・干潟生物調査
- 活動状況・調査結果などを県に報告



- 回収したごみの処分等に協力
- 県と連携し,せとうち海援隊をバックアップ

- せとうち海援隊の認定
- 傷害保険・賠償保険への加入や海援隊旗配布などの支援
- 活動状況のPR
- 生物調査の結果の集計・公表など

呉市倉橋町 海越女性会による海浜清掃



- ・平成14年度 認定
- ・構成人数 71名(平成19年12月現在)
- ・海越地区海岸における月1回の海浜清掃
(約45年間継続)
- ・平成17年度 「広島県ひろしま環境賞」受賞



2. 「瀬戸内海の暮らしと環境体験学習in倉橋」

～みんなで学ぼう・見よう・触れよう・語ろう・そして守ろう 私たちの瀬戸内海～

実施日:平成15年10月22日(水) 於)広島県安芸郡倉橋町

参加者:呉市倉橋町女性会メンバー約200名

主催:暮らしを海と世界に結ぶみなとづくり女性ネットワーク

共催:広島県安芸郡倉橋町(当時)

後援:国土交通省中国地方整備局・広島県

背景

・瀬戸内海における急速な水質汚濁の進行による水質環境の悪化(藻場・干潟の減少, 海砂採取, ゴミの不法投棄・散乱ゴミ, 赤潮・・・)

⇒多様な主体による連携・協働体制での環境問題への取り組み

開催目的

- ・豊かで多様な地域資源の発見と課題への再認識, さらに活用へ
- ・「瀬戸内海は人間と自然との共生の場である」という意識の共有化 → 環境問題を身近な「生活問題」として考える契機に
- ・環境学習や環境教育における産官学民の幅広い連携と参画の推進

⇒瀬戸内海国立公園随一の景勝地「倉橋島」を舞台に, 自然との触れ合い・交流の場の創出を勧めたい

プログラム

1) イントロダクション・スピーチ

みんなで学ぼうー倉橋島の『ここがポイント』ー

- ・瀬戸内海の特徴
- ・広島県と倉橋島の漁業
- ・海の環境と保全

2) フィールドワーク

みんなで見よう・触れよう

ー暮らしの視点で点検！ー(西・東コース)

★ 歴史・文化, 自然, 産業, 景観, 住民活動に関する地点を視察スポットとして設定

★ 現地解説者は地元関係者・住民に依頼

3) 全体討論(ワークショップ含む)

みんなで語ろう・そして守ろう

フィールドワーク概要



全体討論



フィールドワークのまとめ作業



全体討論



ワークショップで提案された意見(一部)

	【プラス・イメージ】 良い点・次世代に遺したい点	【マイナス・イメージ】 何とかすべきと思う点 ここが問題点	【何をなすべきか】 アイデア 取り組むべき課題
海越地区 女性会 清掃活動	<ul style="list-style-type: none"> ・大変なゴミの分別までよく頑張られている ・40年間も継続していることが素晴らしい ・女性会会員相互の協力し合う気持ちに感心 ・海岸が非常に美しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・釣り客の人糞までがある ・回収ゴミの多さと改善されないらしい ・他の地域の海岸線は缶ゴミなど多い ・清掃活動費などが会費でまかなわれている ・駐車場の無料は一考を要求したい ・除草剤の使用 ・カラスの害がひどい ・漁港の漁具の散乱 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料駐車場に釣り客が多く来るためゴミの持ち帰りについて得策を考える ・海越地区活動の各地域への普及を図る ・釣り客用のトイレの設置 ・釣り客のマナー強化 ・倉橋の美しい自然を守ろうとする機運醸成 ・表彰のみでなく助成金制度を検討 ・草は刈り取る方が自然に優しい
鹿島の石積み段々畑	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術品としか言いようのない労働の素晴らしさに感動 ・人間の大きな知恵とエネルギーに感心 ・石の間の草を一本ずつ採る仕事も大変 ・段々畑での農業が継続していることが素晴らしい ・歴史を感じる ・重要文化財などに指定して残しておきたい ・鹿島区は石積み畑で代々保存してもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ町内に住みながら知っていても初めて見た ・TVで見たことがあるなんて情けない ・次世代が引き継いでいけるか心配 ・高齢化している・若者がいない ・いのししによる被害が大きい ・石垣のいのしし除けが醜い ・周囲や道路が汚い・狭い ・交通が不便 ・入り口が解らない ・説明文がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観マップの作成 ・入り口の標識の作成 ・歴史的経緯などの説明文付き看板設置 ・先祖の遺産を守ろうという気持ちをもとう ・後継者(保存する人)の育成 ・町のいのしし対策への期待 ・子供達に見せたい ・保全の取り組みを町で ・草取りを住民皆でボランティア ・他市町との農業その他の交流で手入れその他の作業協働を図る

3. 高知県柏島における「里海づくり」(島がまるごと博物館構想)

「里海」の捉え方
人が海からの豊かな恵みを一方的に享受するだけでなく、人もまた海を耕し、育み、守る

- ・海洋生物の調査研究や海洋セミナー実施
- ・海の環境学習会や体験学習開催
- ・エコツアーの開催

実感する

持続可能な
里海

活かす

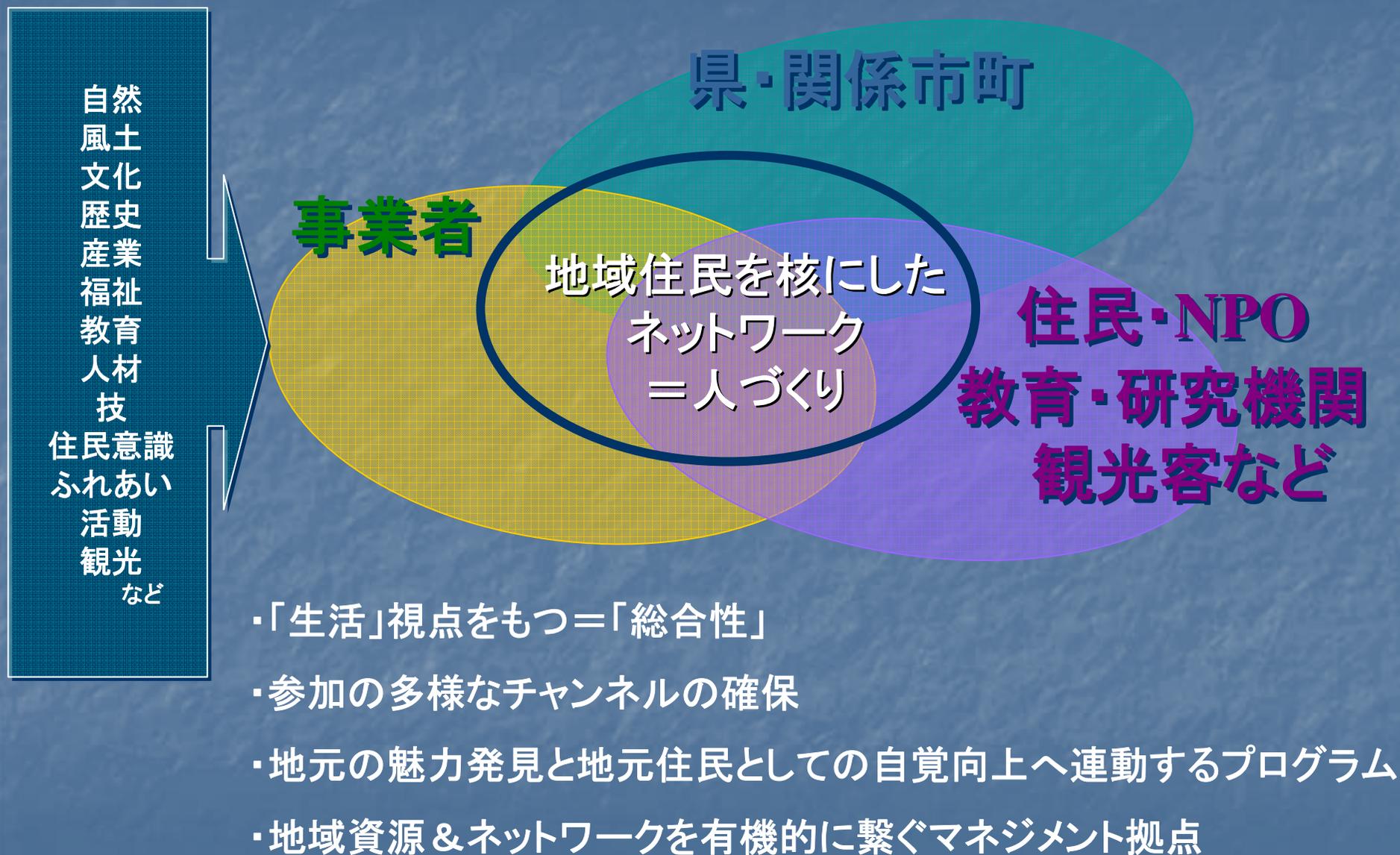
- ・住民の物産販売「里海市」への参加
- ・望ましいかたちでの海洋資源活用の振興
- ・豊かな漁場づくりのお手伝い

守る

- ・海洋環境の定期的な調査を実施
- ・サンゴや藻場の保全活動
- ・自然と暮らしを守るルール作りのお手伝い

自然科学的アプローチ + 社会的アプローチ

4. 「海」からのまちづくりを目指して



5. 「広島湾再生」施策への期待

多様な地域資源の宝庫

- ・瀬戸内海国立公園指定の自然景観
- ・歴史,文化的遺産 ・島嶼部の暮らし
- ・牡蠣生産量 ・観光地としての知名度 ・市民ボランティア
- ・海洋性レジャー ・「海」をフィールドにした教育現場
- ・「森～川～海」を結ぶ一体的な取り組みが可能



「海洋レクリエーション」などの
島嶼部における高等学校の授業

「海」の多角的活用が可能

「海」からのまちづくりが実現しやすいエリア
最も「瀬戸内海式里海」が検討されやすいエリア



ありがとうございました